

福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2026年2月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表

2026年6月15日



固形状の放射性物質：優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野

①：水処理廃棄物等

No.①-1：プロセス主建屋等ゼオライト等の回収着手（2025年度）	P1
No.①-2：HIC内ALPSスラリー移替作業（2024～2026年度）	P2
No.①-3：スラリーの脱水処理開始（2028年度）	P3
No.①-4：除染装置スラッジの回収着手（2028年度）	P4
No.①-5：大型廃棄物保管庫第一棟への吸着塔類の屋内保管移行完了（2026年度）	P5
No.①-6：大型廃棄物保管庫第二棟への水処理二次廃棄物の屋内保管移行完了	P6
No.①-7：スラリー脱水物の固体廃棄物貯蔵庫（第11棟以降）における保管への移行完了	P7
No.①-8：水処理二次廃棄物の固化処理方法決定・施設整備計画具体化 スラリー脱水物固化処理施設設置	P8

②：瓦礫等（これまでの廃炉作業等によるもの）／建屋解体物等

No.②-1：表面線量率による瓦礫類放射能濃度管理手法の構築 （中線量・低線量・BG相当）（2028年度） 高線量瓦礫等の放射能濃度管理手法の検討 3・4号Rw/Bを対象とした施設解体に係る試験の実施 建屋解体に係る汚染調査、解体方法等の整備 （建屋解体モデルの策定）（2028年度） 実施施設解体への適用（3・4号Rw/B含む）	P9
No.②-2：廃棄物貯蔵庫（10棟）一時的運用解消（2033年度）	P10
No.②-3：廃棄物貯蔵庫（11棟）運用開始（2027年度） 廃棄物貯蔵庫（11棟以降）運用開始	P11
No.②-4：溶融設備設置（2032～2034年度）	P12

③：核種分析

No.③-1：分析第二棟設置（2028年度）※ 分析に係る東京電力の人材の確保 総合分析施設の設置	P13
No.③-2：分析計画に基づく試料採取・分析の実施 （主要核種の濃度の把握／固化に係る化学的性状の把握／ 既発生瓦礫類の汚染状況のばらつき把握（グルーピングの整理）／ 建屋コンクリートにおける核種浸透挙動の把握）	P14

固形状の放射性物質以外の主な目標

④：汚染水対策

No.④-1：滞留水中のα核種除去開始（2027年度） プロセス主建屋、HTI建屋の水位低下	P15
No.④-2：建屋外壁局所止水対策の完了（2028年度） 建屋流入量の更なる低減 （WPくみ上げ抑制策の検討／2.5m盤汚染箇所の特定／ 2.5m盤汚染土壌隔離措置・浄化策等の検討／ 凍土遮水壁の段階的終了に係る検討）	P16

⑤：原子炉建屋内のリスクの低減

No.⑤-1：1/2/5/6号機全燃料取出し完了（2031年度）	P17
No.⑤-2：乾式キャスク仮保管設備増設 共用プール燃料搬出・高台での乾式保管の開始※	P18
No.⑤-3：1/3号機注水停止試験・給排気流量変更試験等による 炉内挙動の把握 （炉内雰囲気管理のための適切な給排気流量の検討／ 適切な炉内冷却方法の検討／炉内状態監視手段等の検討）	P19

⑥：設備・施設の維持・撤去

No.⑥-1：1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）	P20
No.⑥-2：運用補助共用施設周辺の斜面对策工事の完了	P21
No.⑥-3：新水処理設備の設置（新ALPS設備、新RO設備）	P22

⑦：廃炉作業を進める上で重要なもの

No.⑦-1：1/2号機排気筒下部の高線量SGTS配管等の撤去・周辺の 汚染状況調査（2025年度）	P23
---	-----

⑧：継続的な実施を行うもの

No.⑧-1：原子炉建屋内等の汚染状況把握（核種分析等） 原子炉冷却後の冷却水の性状把握（核種分析） 原子炉建屋内等での汚染水の流れ等の状況把握	P24
No.⑧-2：格納容器内及び圧力容器内の直接的な状況把握 （圧力容器内については今後実施予定）	P25
No.⑧-3：排水路の水の放射性物質の濃度低下	P26
No.⑧-4：高線量下での被ばく低減 建物等からのダスト飛散対策 労働安全衛生環境の改善 品質管理体制の強化 （高線量作業に対するリスク抽出及び業務管理の強化）	P27

※：廃炉作業を進める上で重要なもの

No.	分類	項目
①-3	固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等	スラリーの脱水処理開始（2030年度）
現状の取り組み状況		検討課題
<p>○スラリー安定化設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年1月7日 実施計画変更認可申請 → 申請内容と現在の設計内容が大きく異なることから、実施計画変更認可申請を取り下げた（2026年1月29日）。設計が完了次第、再度申請を行う。 ・設備の閉じ込め機能に係る詳細設計実施中。 ・設備の詳細設計（脱水物の充填・搬出、メンテナンス時ならびに設備運用時の作業員に対する被ばく低減策、ダスト飛散防止対策、脱水物保管容器等に係る詳細設計）を実施中。 ・HIC解体エリアの追加や長期運用を考慮した導線確保による建屋規模拡大や、気密性確保のための建屋構造変更を踏まえた建屋詳細設計を実施中。 ・実規模フィルタープレス機での脱水試験結果から、脱水物の取り扱い方法の見直しとなり、セルや脱水物を格納する容器、脱水物搬送方法について見直しを実施中。 <p>○スラリー排出装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HIC底部スラリーの性状確認を2基実施し、固化は確認されず。水の添加・攪拌による流動性が向上することを確認。 ・排出装置による排出確認（模擬スラリー）を実施し、水流を用いた抜き出し方法の成立性を確認。 ・排出装置の排出確認（実スラリー）の実施し、水流を用いて抜き出せることを確認。移替え対象HICを用いた排出確認を実施し、水流を用いた抜き出し方法の成立性について確認した。 		<p>・設置候補地の変更に伴い、機器設計（プロセス設計ならびに機器配置設計）の見直し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地質調査の結果を踏まえ、必要に応じ地盤改良範囲の見直し。 ・M/U結果により、セルの大きさやマニピュレータの取り付け位置に変更が生じる可能性がある。 ・耐震設計の結果、機器・建屋詳細設計の見直しの可能性がある。 ・工事工程の詳細については、設計段階であり、変動する可能性がある。
		今後の予定
		<ul style="list-style-type: none"> ・機器配置および建屋形状の見直しに時間を要したことや33.5m盤での耐震B+クラス設備の他設備の建屋設計実績から建屋設計期間が現状の想定期間より必要となること、建屋が一般的な建屋と比べて辺長比が大きくなり、解析方法の変更が必要になったことに伴い、建屋設計に時間を要することが確認されたことから、それを工程に反映すると、脱水処理開始が2028年度から2030年度以降となる。 ・機器配置ならびに建屋形状における建屋の構造強度の成立性が見えてきたことから、今後、機器ならびに建屋の耐震設計を進める。

工程表

分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
許認可	実施計画																				<ul style="list-style-type: none"> ・設計を大きく変更するため、申請を取り下げ実施（2026年1月）。
検証・製作・現場作業	抜き出し装置設計																				<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度に水流を用いた実スラリーの抜き出し確認を実施し、抜き出しの成立性を得た。 ・遠隔にて操作できるよう装置の設計を進める。
	詳細設計																				<ul style="list-style-type: none"> ・耐震設計 ・機器（保管容器設計含む）、建物詳細設計、建築確認申請
	スラリー安定化処理設備（フィルタープレス機他）設計・製作・設置	製作・設置																			
	建屋設置																				
運用	スラリー安定化処理																				<ul style="list-style-type: none"> ・2030年度以降運用開始予定

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。

青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
①-4	固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等	除染装置スラッジの回収着手（2028年度）
現状の取り組み状況		検討課題
<ul style="list-style-type: none"> ・プロセス主建屋壁面に遠隔装置，吸引装置を搬入するための仮設構台の設置，および壁面の開口作業完了。 ・プロセス主建屋 1 階の除染作業を実施中。 ・スラッジ抜出しの過程における脱水を計画（“安定化処理”を別途，計画する必要があるかを今後判断） ・2024年5月27日の技術会合にて，原子力規制庁殿と方向性の合意のもと，ダスト閉じ込め対策の設計を見直したが，設備の追加や筐体の大型化に伴い，耐震評価の見直しを実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ・抜き出し装置を設置するプロセス主建屋 1 階が高線量であることから除染の検討 ・高線量スラッジを取り扱うことから遮へい，漏えい対策等の安全対策の検討 ・抜き出し時にスラッジをどこまで脱水できるかについて検討 ・スラッジの脱水性の評価と脱水設備の設計具体化 ・ダストの気中への移行率について検討 ・ダスト閉じ込め機能のエリア，逆流防止の考え方についての整理，検討 ・運転員や作業員の習熟度を向上させるためのモックアップ／訓練の検討
		今後の予定
		<ul style="list-style-type: none"> ・抜き出し装置の更なる具体化，安全対策を含めた詳細設計を実施し，スラッジを高台へ移送開始する。（2028年度 スラッジ回収着手） ・ダスト閉じ込め対策を実現するための換気空調設備と配置の設計に伴い，設備の追加や筐体の大型化が必要となったため，耐震評価の見直しを実施中。耐震評価が完了次第，実施計画変更認可申請の補正を行う。

工程表

対策	分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月 現時点	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
除染装置 スラッジの 移送	設計・検討	詳細設計検討	[Blue bar from April to November]																耐震評価を完了させるため，詳細設計を継続で検討中。	
	許認可	実施計画	[Blue bar from April to November]																耐震評価が完了次第，実施計画変更認可申請の補正を実施	
	製作 現場作業	除染装置フラッシング， 床面除染，遮へい設置等	[Blue bar from April to March]																	
抜き出し装置製作・設置		[Blue bar from April to March]																		
		抜き出し装置運転																	[Blue box]	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前，黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目																	
①-5	固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等	大型廃棄物保管庫第一棟への吸着塔類の屋内保管移行完了（2026年度）																	
現状の取り組み状況		検討課題											今後の予定						
・2025年10月31日 実施計画変更申請（使用済吸着塔保管架台）		<ul style="list-style-type: none"> ・使用済吸着塔耐震評価・落下影響評価の内容検討 ・使用済吸着塔架台床面の耐震性検討 ・南堰への使用済吸着塔受入の検討 											<ul style="list-style-type: none"> ・使用済吸着塔保管架台設置 ・使用済吸着塔の屋内保管 						
工程表																			
分類	内容	2026年度												2027年度		2028年度	2029年度以降	備考	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
許認可	実施計画			使用済吸着塔保管架台設置															・2025年10月31日 実施計画変更申請（使用済吸着塔保管架台）
製作・設置 工事	使用済吸着塔保管架台製作・設置																		
運用	使用済吸着塔類の受入																		SARRY吸着塔は2026年度中に屋内保管移行完了を行う。

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
①-7	固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 水処理廃棄物等	スラリー脱水物の固体廃棄物貯蔵庫（第11棟以降）における保管への移行完了
現状の取り組み状況		検討課題
【廃棄物貯蔵庫（第11棟）】 ・1F耐震設計に関する考え方に基づき、耐震評価や設計を実施中 ・2025年8月 8日 実施計画変更申請 ・2026年5月18日 実施計画変更認可		【廃棄物貯蔵庫（第11棟）】 ・2026年5月25日建築工事着手（貯蔵庫棟基礎コンクリート打設）
現状の取り組み状況		今後の予定

工程表																		
対策	分類	内容	2026年度												2027年度	2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月 現時点	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
固体廃棄物貯蔵庫第11棟設置	許認可	実施計画																
	設計	設計検討																
	現場作業	設置工事																

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
②-2	固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 瓦礫類等（これまでの廃炉作業等によるもの）	廃棄物貯蔵庫（10棟）一時的運用解消（2033年度）
現状の取り組み状況		検討課題
【廃棄物貯蔵庫（第10棟）】 ・2023年2月21日に実施計画変更認可 ・10-A棟は2024年8月23日運用開始 ・10-B棟は2024年10月29日運用開始 ・10-C棟は2025年5月16日運用開始		— ・廃棄物貯蔵庫（10棟）の一時的運用解消に向けて、移送先の施設の計画を検討する。
現状の取り組み状況		今後の予定

工程表																			
対策	分類	内容	2026年度												2027年度		2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月 現時点	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
棄物貯蔵庫（10棟）の一時的運用解消	検討	移送先の施設の計画を検討																	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.		分類		項目																
②-3		固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 瓦礫類等（これまでの廃炉作業等によるもの）		廃棄物貯蔵庫（11棟）運用開始（2027年度） 廃棄物貯蔵庫（11棟以降）運用開始																
現状の取り組み状況				検討課題										今後の予定						
【廃棄物貯蔵庫（第11棟）】 ・1F耐震設計に関する考え方に基づき、耐震評価や設計を実施中 ・2025年8月 8日 実施計画変更申請 ・2026年5月18日 実施計画変更認可				-										【廃棄物貯蔵庫（第11棟）】 ・2026年5月25日建築工事着手（貯蔵庫棟基礎コンクリート打設）						
工程表																				
対策	分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月 現時点	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
固体廃棄物 貯蔵庫 第11棟設置	許認可	実施計画																		
	現場作業	設置工事																		

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
③-2	固形状の放射性物質： 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 核種分析	分析計画に基づく試料採取・分析の実施 ・主要核種の濃度の把握 ・固化に係る化学的性状の把握 ・既発生瓦礫類の汚染状況のばらつき把握（グルーピングの整理） ・建屋コンクリートにおける核種浸透挙動の把握
現状の取り組み状況		検討課題
<ul style="list-style-type: none"> 分析計画の継続的な更新： <ul style="list-style-type: none"> リスクマップ関連課題における分析ニーズの反映 解体モデルケース検討 瓦礫類の放射能濃度管理手法の構築 水処理二次廃棄物の固化処理方法決定 分析対象核種の選定 JAEA分析・研究施設の役割の拡大（ALPS処理水第三者分析等）に伴う分析数減を踏まえた分析方針の変更 上記を反映した固体廃棄物の分析計画の策定 分析用試料の採取・分析の実施（継続実施）： <ul style="list-style-type: none"> 分析計画に基づく試料採取 分析用試料の輸送（茨城地区分析施設、JAEA分析・研究施設第一棟） 分析の実施、分析データの整理・評価、各検討課題への展開 		今後の予定 【分析計画の更新】 ・最新の廃炉工程・作業状況等の反映 ・分析・試料採取等に係る技術課題への対応 【廃棄物毎の分析計画の具体化】 ・分析計画策定において前提とする各廃棄物の管理方法、保管・管理、処理・処分方法の仮定の仕方 ・再利用に係る濃度基準の検討が必要（1F固有の条件を反映した予備的安全評価の実施）
		<ul style="list-style-type: none"> 1F固体廃棄物の分析計画の更新（継続実施） リスクマップ関連課題における分析ニーズの反映 固体廃棄物の分析計画（次年度版）の策定 試料採取・分析の実施（継続実施） 分析計画に基づく試料採取、輸送、分析の実施 分析データの整理・評価、各検討課題への展開 各検討課題のニーズ反映（C-14のNDの改善など）

対策	分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
分析計画更新	検討	最新状況・計画の反映	[Gantt chart bar]															継続実施		
水処理二次廃棄物	検討	性状把握方針詳細化 分析計画詳細化 技術開発課題検討	[Gantt chart bar]															継続実施	具体的な計画は分析結果や試料採取状況も踏まえ、適宜更新	
	試料採取・分析	KURION/SARRY吸着材	[Gantt chart bar]																	
ALPSスラリー		[Gantt chart bar]																		
解体廃棄物	検討	性状把握方針詳細化 分析計画詳細化 技術開発課題検討	[Gantt chart bar]															継続実施	具体的な計画は分析結果や試料採取状況も踏まえ、適宜更新	
	試料採取・分析	建屋コンクリートコア・ 研り・瓦礫類等	[Gantt chart bar]																	
瓦礫類等	検討	性状把握方針詳細化 分析計画詳細化 技術開発課題検討	[Gantt chart bar]															継続実施	具体的な計画は分析結果や試料採取状況も踏まえ、適宜更新	
	分析	試料採取・分析	[Gantt chart bar]															継続実施		

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
④-1	固形状の放射性物質以外の主な目標 汚染水対策	滞留水中のα核種除去開始（2027年度） プロセス主建屋、HTI建屋の水位低下
現状の取り組み状況		検討課題
<p>【滞留水処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1～3号機原子炉建屋内滞留水半減は2023年3月に完了 1～4号機建屋滞留水を一時貯留しているプロセス主建屋、高温焼却炉建屋を代替する建屋滞留水一時貯留設備を設置し、床面露出することを計画中 2025年1月21日 実施計画変更認可（滞留水一時貯留設備設置） 2025年6月27日 実施計画変更認可（プロセス主建屋・高温焼却炉建屋 滞留水移送装置の設置） <p>【滞留水中のα核種除去開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全α濃度の傾向監視とともに、α核種の性状分析や実液によるモックアップ試験等を進め、セシウム吸着装置後段フィルタ装置の詳細設計を実施中。2025年7月8日に技術会合にて進捗状況を報告。 2024年6月27日 実施計画変更認可申請（セシウム吸着装置後段フィルタ装置） 		<p>【滞留水中のα核種除去開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実液によるモックアップ試験（フィルタ通水試験）にて想定より短時間で閉塞事象が確認され、その対策として、前処理（添加剤及び凝集剤の添加）プロセスの追加を実施し機器設計を見直した。
		今後の予定
		<p>【滞留水処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> プロセス主建屋、高温焼却炉建屋については、極力低い水位を維持しつつ、ゼオライト土壌等の回収及びα核種拡大防止対策、床面露出用ポンプの設置後、最下階床面を露出する。 プロセス主建屋、高温焼却炉建屋の機能を引き続き滞留水一時貯留設備を設置する。 <p>【滞留水中のα核種除去開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実液によるモックアップ試験を実施し、添加剤及び凝集剤の添加量を検討する。 滞留水中のα核種除去開始に向けてα核種除去設備の設置を実施する。

工程表																			
対策	分類	内容	2026年度												2027年度	2028年度	2029年度以降	備考	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
建屋滞留水一時貯留設備の設置	現場作業	建屋滞留水一時貯留設備の製作・設置（詳細設計含む）			赤字														製作・設置期間を再精査
滞留水中のα核種除去方法の確立	許認可	実施計画				※													※ 認可希望時期調整中
	現場作業	セシウム吸着装置後段フィルタ設備製作・設置																	
	運用	セシウム吸着装置後段フィルタ設備運用																	
プロセス主建屋、HTI建屋の水位低下	現場作業	プロセス主建屋、HTI建屋の水位低下																	

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
⑤-1	固形状の放射性物質以外の主な目標 原子炉建屋内のリスクの低減	1/2/5/6号機全燃料取り出し完了（2031年度）
現状の取り組み状況		検討課題
<p>【1号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料取扱設備及び付帯設備の設計・製作 大型カバー換気設備他据付工事を継続 ガレキ撤去の計画 ずれが確認されたウェルブラグの処置方法の検討 2025年11月4日～2026年4月9日 4号機燃料取扱機搬出 <p>【2号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2026年6月2日 燃料取り出し開始 <p>【5号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年7月23日 燃料取り出し開始 <p>【6号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年4月16日 6号機燃料取り出し完了 		<p>【1号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災前から保管している破損燃料の取り扱い計画の立案 ウェルブラグのずれ状況の変化が生じた場合の対応策の立案 ガレキ撤去後のオペフロアの状況を踏まえた除染・遮への成り立ちと対応策 <p>【1号機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ガレキ撤去装置製作、モックアップをガレキ撤去開始までに実施し、ガレキ撤去へ着手する。 燃料取扱設備及び震災前から保管している破損燃料の取り扱い等についても検討を進めていく。

工程表

対策	分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
【1号機】 ガレキ撤去（カバー設置後）	設計・検討	ガレキ撤去工事の計画	[Gantt bar from April to August]																			
	現場作業	ガレキ撤去				[Gantt bar from July to February]															既設天井クレーン・FHM撤去含む	
【1号機】 ウェルブラグ処置	現場作業	ウェルブラグ処置				[Gantt bar from August to March]															既設天井クレーン・FHM撤去以降に実施する計画	
【1号機】 オペフロ除染・遮へい	現場作業	オペフロ除染・遮へい																		[Gantt bar from October to March]		
【1号機】 燃料取扱設備設置	製作	燃料取扱設備設置	[Gantt bar from April to March]																			
	現場作業	燃料取扱設備設置																		[Gantt bar from April to May]		
【1号機】 1号機燃料取り出し	設計・検討	破損燃料取り扱いの計画	[Gantt bar from April to March]																			
	現場作業	燃料取り出し																		[Gantt bar from February to March]		
【2号機】 2号機燃料取り出し	現場作業	燃料取り出し				[Gantt bar from July to March]																・2026年6月2日 燃料取り出し開始
【5号機】 5号機燃料取り出し	現場作業	燃料取り出し	[Gantt bar from April to March]																	・2025年7月23日 燃料取り出し開始 ・2号機燃料取り出し中は作業を中断		

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
⑤-2	固形状の放射性物質以外の主な目標 原子炉建屋内のリスクの低減 廃炉作業を進める上で重要なもの	乾式キャスク仮保管設備増設 共用プール燃料搬出・高台での乾式保管の開始
現状の取り組み状況		検討課題
<ul style="list-style-type: none"> 乾式キャスクの製造及び使用前検査実施中 乾式キャスクの福島第一への納入を継続実施 2020年9月29日 実施計画変更認可（輸送貯蔵兼用キャスク（既設）30基⇒45基） 2024年1月15日 実施計画変更認可（輸送貯蔵兼用キャスク（増設）30基） 2023年7月6日 実施計画変更認可申請（設備増設 計65基⇒計95基）* ※合計基数には乾式貯蔵キャスク20基含む 2024年2月 キャスク仮保管設備の増設着手 2025年8月20日 実施計画変更認可（乾式キャスク仮保管設備の増設） 		今後の予定 ・2026年度より増設箇所の運用開始予定

工程表																			
対策	分類	内容	2026年度												2027年度		2028年度	2029年度以降	備考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
乾式キャスク増設	現場作業	乾式キャスクの製造	→																
		乾式キャスクの設置 (共用プールからの燃料取り出し)	→																
乾式キャスク仮保管設備の増設	現場作業	乾式キャスク仮保管設備の増設工事	→																

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
⑥-1	固形状の放射性物質以外の主な目標 設備・施設の維持・撤去	1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）
現状の取り組み状況		検討課題
【1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）】 ・暫定として4階レベルに地震計設置完了		【1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）】 ・瓦礫類撤去後の設置場所検討 ・地震計設置
		今後の予定
		【1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）】 ・瓦礫類撤去後の設置場所検討 ・地震計設置

工程表

分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
1号機原子炉建屋上階への地震計設置（5階瓦礫類撤去後）	瓦礫類撤去後の設置場所検討 地震計設置																			暫定として4階レベルに設置した地震計で計測開始

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
⑥-2	固形状の放射性物質以外の主な目標 設備・施設の維持・撤去	運用補助共用施設周辺の斜面対策工事の完了
現状の取り組み状況		今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> 第16回1F技術会合にて対応方針，対策実施箇所の選定方針について提示（2023年12月26日） 干渉物移設・撤去が必要な設備の抽出（完了） 干渉物移設・撤去中長期シナリオ作成（完了） 斜面セットバック工事に伴う設計（継続中） 干渉物移設・撤去の検討（継続中） 		<ul style="list-style-type: none"> セットバック工事にあたって，既設建造物の移設・撤去および発生土量が必要最小限となるような平面レイアウトを検討する。 斜面セットバック後の付け替え道路線形の方針は具体化できている一方で、施工ヤードの設定等が明確化できていない。それにより、高圧ケーブルなどの配線や配管類の移設候補先が定まらない。
<ul style="list-style-type: none"> 干渉物撤去・移設については中長期シナリオを基に適宜、進捗管理を行い、2029年度までに完了予定。 斜面対策工事についてはプール燃料取り出し等の対策箇所周辺工事に支障が発生しないように工事計画ならびに設計に取り組む。 		

工程表

分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
事前準備	支障となる移設対象設備の検討・選定	[Blue bar spanning from April to August 2026]																	
	支障となる設備の移設工事															[Blue bar spanning from September 2026 to March 2027]			
セットバック工事	セットバック工事の設計・検討	[Blue bar spanning from April to March 2027]																	
	工事																[Blue bar spanning from September 2026 to March 2027]		

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
⑥-3	固形状の放射性物質以外の主な目標 設備・施設の維持・撤去	新水処理設備の設置（新ALPS設備、新RO設備）
現状の取り組み状況		検討課題
○新ALPS設備 ・建設候補地の地質調査などを完了 ・基本設計を実施中 ○新RO設備 ・建設候補地の地質調査を完了 ・基本設計を実施中		○新ALPS設備 ・耐震クラスに応じた具体的な設備設計 ・増設ALPS身体汚染事象などの対策を踏まえた設備設計 ・ダスト閉じ込め対策の具体的な成立性の検討 ○新RO設備 ・耐震クラスに応じた具体的な設備設計
今後の予定		
○新ALPS設備 ・2026年度に実施計画変更認可申請予定 ○新RO設備 ・2026年度に実施計画変更認可申請予定		

工程表

分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考						
		4月	5月	6月 見直し点	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月												
新ALPS設備	実施計画																								
	検討・設計・設置	[Blue bar spanning from April to March 2027]																							
	運用																								
新RO設備	実施計画																								
	検討・設計・設置	[Blue bar spanning from April to March 2027]																							
	運用																								

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目	
⑧-1	継続的な実施を行うもの	原子炉建屋内等の汚染状況把握（核種分析等） 原子炉冷却後の冷却水の性状把握（核種分析） 原子炉建屋内等での汚染水の流れ等の状況把握	
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定
継続的な取り組みを実施。			

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目
⑧-2	継続的な実施を行うもの	格納容器内及び圧力容器内の直接的な状況把握（圧力容器内については今後実施予定）
現状の取り組み状況		検討課題
<p>○1号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる調査に向けた調査範囲の策定，調査装置の改良設計・試験・M/U計画を検討中 <p>○2号機 原子炉圧力容器（RPV）内部調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期に内部を確認する目的でRPVノズルN16Aに繋がる原子炉水位計装配管に小型線量計を内蔵した内視鏡を人力で挿入して調査を実施。 ・2026年4月14日～16日 調査 <p>○2号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査及び・試験的取り出し作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026年4月7日にロボットアームを1Fへ搬送し、4月21日に2号機原子炉建屋へ搬送を実施。その後、2号機原子炉建屋への搬入を行い、現在、ロボットアームの据付作業を実施中 <p>○3号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロドローンを用いて、ベデスタル外1FLエリアおよびベデスタル内の気中部調査を実施中(2026年3月) ・ドライウェル地下階にあるベデスタル人員開口からの堆積物流出状況について、調査計画を検討中。 		<p>○1号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査（気中部調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度に実施したPCV内部調査（気中部調査）から得られたベデスタル内状況を模擬したモックアップ設備による習熟訓練の実施。 ・ベデスタル内はCRD関連機器と思われる上部の構造物が複数落下していたことから、同じくドローンでRPV底部を調査するためには上部方向を確認する手段の検討。 ・PCV内の露は照明の性能を著しく低下させ視認距離を短くし、カメラに曇りを発生させる要因にもなるため気中部の調査においてはカメラや照明等の対策。 <p>○2号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査及び試験的取り出し作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレスコピ式装置のカメラ不具合事案を踏まえて、ロボットアームに搭載しているカメラの照射試験を実施。現場環境よりも厳しい条件下ではメーカ仕様通りの耐放射線性が確認できないものがあつたことを確認。また、実際の現場環境（PCV内）にあわせた条件の照射試験においても、メーカ仕様通りの耐放射線性を確認できないものを確認。現地作業にて高い累積放射線量が必要となる部位のカメラについては、使用するカメラを当社作業において使用実績のあるカメラへ変更。 <p>○3号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベデスタル外への堆積物の流出状況を確認するためには、ドライウェル地下階にあるベデスタル内への人員開口付近に到達する必要があるため、これまでの調査結果を踏まえ、アクセス方法を検討中。
		今後の予定
		<p>○1号機PCV内部調査（気中部）を実施予定。</p> <p>○2号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査及び試験的取り出し作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロボットアームの据付作業を3～4ヵ月かけて実施する計画。PCV内部調査・デブリ採取の着手は、2026年夏頃を見込んでいる。 <p>○3号機PCV内部調査の結果については、これまでの調査結果を踏まえ、ドライウェル地下階調査(ベデスタル外への堆積物の流出状況調査)を検討予定。</p>

工程表

対策	分類	内容	2026年度												2027年度			2028年度	2029年度以降	備考	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
1号機格納容器内部調査（気中）	検討	検討	[Blue bar]																		
	製作・設置	製作・モックアップ・設置																			
	作業	調査																※	※時期調整中		
2号機原子炉圧力容器内部調査	作業	調査	[Blue bar]																	2026年4月14日～16日	
2号機PCV内部調査及び試験的取り出し作業、性状把握	現場作業	ロボットアームによる内部調査・デブリ採取																		※	※時期調整中
		性状把握	[Blue bar]																		
3号機格納容器内部調査	設計	詳細設計	[Blue bar]																		
	製作・設置	製作・モックアップ・設置																			
		調査																			※

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。

青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目	
⑧-3	継続的な実施を行うもの	排水路の水の放射性物質の濃度低下	
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定
継続的な取り組みを実施。			

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
 青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。

No.	分類	項目	
⑧-4	継続的な実施を行うもの	高線量下での被ばく低減 建物等からのダスト飛散対策 労働安全衛生環境の改善 品質管理体制の強化（高線量作業に対するリスク抽出及び業務管理の強化）	
現状の取り組み状況		検討課題	今後の予定
継続的な取り組みを実施。			

赤字は前回からの追加・変更箇所を示す。
青点線の工程は見直し前、黄色線の工程は見直し後の工程を示す。